

東北 I M連携協議会（T A I M）第 1 8 回総会

期日：令和 6 年 7 月 18 日（木）

場所：岩手県奥州市 水沢グランドホテル

次第

1. 開会

2. 挨拶 東北 I M連携協議会代表幹事 庄司 孝一

3. 議長選出

4. 議事

1) 第 1 号議案

- ・令和 5 年度事業報告について
- ・令和 5 年度収支決算報告について

2) 第 2 号議案

- ・令和 6 年度事業計画（案）について

3) 役員改選について

4) その他

5. その他

6. 閉会

1) 第1号議案

・令和5年度事業報告

- ① 東北IM連携協議会総会・ワークショップ in 大曲 (詳細は資料1)
期 日 : 令和5年7月6日(木) 総会、ワークショップ
7日(金) 視察(㈱花火創造企業、はなび・アム)
会 場 : 大曲エンパイアホテル
参加人数 : 60名 各県IM、関係機関、企業等
・総会は過半数を超える会員より承諾を得て承認された。

- ② 東北IM連携協議会ワークショップ in 白河・TAIM Awards 2023 (詳細は資料2)
期 日 : 令和5年10月19日(木) 講演・事例紹介・ワークショップ・Award表彰
20日(金) 視察(㈱キャスト、㈱スズミ白河工場)
会 場 : 白河市立図書館地域交流会議室
参加人数 : 56名 各県IM、関係機関、企業等
・「TAIM Awards 2023」表彰式
ベストインキュベーション・マネージャー賞(公財)山形県企業振興公社 舟越氏
ベストビジネスインキュベーター賞(一社)IMPACT Foundation JapanINTILAQ 東北イノベーションセンター

- ③ 各県IMスキルアップ研修への協力
・北東北スキルアップ研修(詳細は資料3)
研 修 名 : 青森県インキュベーション・マネージャーネットワーク協議会
令和5年度総会・第1回スキルアップ研修会
期日場所 : 令和5年7月21日(木) 青森商工会議所7階研修室
参加者数 : 33名(オンライン参加含む)
内 容 : 総会
県内創業支援の取り組み
連携支援事例紹介
新規IM及びIM養成研修者受講者紹介
情報交換

研 修 名 : 青森県インキュベーション・マネージャーネットワーク協議会
令和5年度第2回スキルアップ研修会
期日場所 : 令和6年1月26日(金) 新町キューブ3階会議室
参加者数 : 47名(オンライン参加含む)
内 容 : 県内創業支援実績について
創業支援の取り組み(Senior-IM 6名の発表)

・南三県合同研修会

研修名 : 令和5年度南東北三県合同スキルアップ研修
期日場所 : 令和5年11月15日(木) 霞城セントラル15階商工団体会議室
参加者数 : 17名
内 容 : 関係機関との連携事例
創業事例のワークショップ

④ J B I Aシンポジウム2023

期 日 : 令和7年11月17日(金)
会 場 : 東京都港区 機械振興会館地下3階 研修室
参加内容 : IMによる女性の社会進出推進活動
・中村 Senior-IM 事例発表

⑤ 第17回ビジネスマッチ東北2023

期 日 : 令和5年11月8日(水)
会 場 : 宮城県仙台市 夢メッセみやぎ
参加内容 : マッチング協力

⑥ 幹事会

「第30回東北IM連携協議会幹事会」

期 日 : 令和5年6月9日(金) 14:00～
場 所 : INTILAQ 東北イノベーションセンター会議室
協議事項 : 1) 東北IM連携協議会事業について
・R5 ワークショップ計画(秋田・福島)について
・R5 青森県、南三県スキルアップ研修計画について
・他
2) 情報提供
・東北経済産業局様より情報提供
3) その他

「第31回東北IM連携協議会幹事会」

期 日 : 令和6年2月20日(火) 14:00～
場 所 : INTILAQ 東北イノベーションセンター会議室
協議事項 : 1) 東北IM連携協議会事業について
・R5 ワークショップ(in秋田・in福島)開催報告
・R5 青森県、南三県スキルアップ研修開催報告
・R6 ワークショップ計画(宮城・岩手)について
・R6 青森県、南三県スキルアップ研修計画について
・役員改選について

2) 情報提供

- ・東北経済産業局様より情報提供

3) その他

⑦ ホームページとメーリングの運営

東北IM連携協議会ホームページ運用 : <http://www.taim.jp/>

会員の情報発信や交流のアイテムとして活用中。会員各位の活用やご意見をお待ちします。

登録数 : 138 アドレス

メーリングリストの運用 : 会員 taim02@taim.jp

役員 touhoku-im@taim.jp

⑧ 令和5年度福島県潜在的な女性起業家発掘育成事業への協力

事業概要 : 女性の起業を支援するため、構成機関と女性起業家等支援ネットワークが連携してイベントやセミナーを開催し、これまで手薄だったフェーズ0、1の支援の充実に図ると同時に、女性起業家等支援ネットワークの活動紹介や起業アテンダントとの連携支援を提案し、女性の起業支援に対する理解と普及を実施した。

協力内容 : 連携イベントやセミナー開催協力

- ・起業アテンダント養成研修事業参画

令和5年9月5日起業アテンダント養成研修事業協力

- ・経済産業省 女性起業家支援連絡会議（私の起業応援団）会員登録および活動の周知

「東北IM連携協議会総会並びにワークショップin大曲」開催報告

- 日 時：令和5年7月6日（木）13：00～17：30
- 総 会 東北IM連携協議会総会
- 講 演 JBIA 星野会長 「地方におけるIMの在り方」
- 情報提供 東北経済産業局・（一財）日本立地センター
- 講 演 秋田県産業労働部商業・貿易課 創業支援チームリーダー 長谷部 達也
「秋田県のスタートアップの現状と課題」
- 紹 介 大曲商工会議所 専務理事 元吉 峯夫
「大仙市の概要と大曲商工会議所の取り組み」
- 報 告 大仙市経済産業部商工業振興課長 今野 智
「大仙市の創業支援施策と課題」
- グループワーク テーマ① 洋上風力発電の波及効果による地域産業の育成
テーマ② 地域経済を牽引する企業が生まれやすくなる機運醸成
テーマ③ 地域資源を活用した中小企業の取り組みサポート
- 令和5年7月7日（金）9：30～12：00
- 視察等 地元企業他
- 主 催：東北IM連携協議会
- 共 催：東北経済産業局、（一社）JBIA
- 後 援：秋田県、大仙市、（公財）あきた企業活性化センター、（一財）日本立地センター
独立行政法人中小企業基盤整備機構東北本部、大曲商工会議所
- 会 場：大曲エンパイヤホテル（秋田県大仙市大曲白金町8-17 TEL0187-63-1131）
- 参加人数：60名

【詳細・効果等】

- ・総会では、令和4年度の事業報告、収支決算報告、令和5年度事業計画（案）について審議され原案どおり承認され、令和5年度事業計画についても確認が行われた。
- ・秋田県及び大仙市など行政と地元商工会議所からの取り組みから創業支援施策の現状と課題についてIM同士が情報共有できたことは非常に有意義であった。
- ・グループワークにおいては、3つのテーマをそれぞれのグループで取り組んだが、少子高齢化などの共通課題や産業構造の違いから様々な意見と考え方が発表され、今後のIM活動に大いに役立った。
- ・グループワークの発表には、大仙市長も出席をするなど協議会やIMの活動を周知し、行政機関がIM活動に対し理解が深まったワークと感じている。
- ・大仙市では、創業支援施策と連動し、移住・定住や若者チャレンジを推進しており、今後、商工団体並びにIMとの更なる連携を確認した。
- ・大曲商工会議所では、現在IMが1名在籍しているが、今後若手職員を中心に取得に動き出している。

「東北 IM 連携協議会ワークショップ in 白河」 & 「東北 IM 連携協議会アワード2023」 事業報告

～実施概要～

日 時：令和5年10月19日（木） 13：30～17：30

20日（金） 9：00～12：30

会 場：白河市立図書館 地域交流会議室（白河市道場小路96番地5）

主 催：東北 IM 連携協議会

共 催：東北経済産業局、(一社)日本ビジネス・インキュベーション協会(JBIA)、(一社)産業サポート白河

後 援：福島県、白河市、(一財)日本立地センター、(独)中小企業基盤整備機構東北本部、白河商工会議所

参加者数：56名 (TAIM会員35名、東北経産局2名、福島県3名、白河市2名、ほか14名)

■10/19

「東北 IM 連携協議会ワークショップ in 白河」 & 「東北 IM 連携協議会アワード2023」

- ・主催者、共催者挨拶 東北 IM 連携協議会 庄司代表幹事、東北経済産業局 地域経済部 高坂次長
- ・来賓代表挨拶 白河市 鈴木市長
- ・講演 (一社)日本ビジネス・インキュベーション協会 星野会長
- ・情報提供 東北経済産業局 地域経済部 渡部氏、(独)中小機構東北本部 企業支援部 小村部長
- ・「TAIM Awards 2023」表彰式
 - ベスト インキュベーション・マネジャー賞 (公財) 山形県企業振興公社 舟越氏
 - ベスト ビジネスインキュベーター賞 (一社) IMPACT Foundation JapanINTILAQ 東北イノベーションセンター
- ・事例紹介
 - 白河素形材ヴァレー会長 松尾氏 (株式会社ミヤタ代表取締役社長)
 - 合同会社 WATASI JAPAN 代表社員 名和氏
- ・ワークショップ テーマ「WATASI JAPAN 更なる成長のためにできること」
 - 4班編成 (ファシリテータ：舟越幹事、工藤幹事、斉藤幹事、重巢監査) により実施。
 - 「販路獲得と拡大」「生産体制の構築」に向けた手法等について意見交換及びグループ発表を行った。
- ・講評 (一社)日本ビジネス・インキュベーション協会 星野会長
- ・交流会 「東京第一ホテル新白河」にて実施。43名参加。

■ 10/20

現地視察・工場見学 30名参加。

- ・視察先① 株式会社キャスト (白河素形材ヴァレー) 9：40～10：30
 - ・視察先② 株式会社スズミ (白河素形材ヴァレー) 11：00～11：50
- 2009年以来、福島県白河市での2度目の開催となりました。上記の事業実施により、同地で展開中の「白河素形材ヴァレー」構想や新規事業創出の現況理解を深めるとともに、課題解決にかかる意見交換や支援策の具体について検討を深めることができました。また、会員間の交流はもとより、東北全域での支援者ネットワーク、現地関係者とのネットワーク構築にも寄与することができました。
- 開催に際し、御尽力頂きました関係機関各位に厚く御礼申し上げます。

青森県インキュベーション・マネジャーネットワーク協議会
令和 5 年度事業報告

項目	具体的内容
総会	<p>開催日：令和5年7月21日（金）15：00～15：15 場 所：青森商工会議所7階研修室 参加者：33名（オンライン含む）（IM、支援機関、青森県等） 議 事：○令和4年度事業報告について ○令和5年度事業計画（案）について ○その他</p>
第1回スキルアップ研修会	<p>開催日：令和5年7月21日（金）15：20～16：45 場 所：青森商工会議所7階研修室 参加者：34名（オンライン含む）（IM、支援機関、青森県等） 内 容：○県の創業支援の取組について（県地域産業課） ○新規IM及び令和5年度IM養成研修受講者紹介 ○連携支援事例紹介 ○情報交換等</p>
第2回スキルアップ研修会	<p>開催日：令和6年1月26日（金）15：00～17：00 場 所：新町キューブ3階会議室 参加者：47名（オンライン含む）（IM、支援機関、青森県等） 内 容：○県内創業実績等について（県地域産業課） ○創業・起業支援の取り組みについて（シニアIM6名）</p>

・令和5年度収支決算報告

東北IM連携協議会総会ワークショップ大曲 収支決算 令和5年7月6日～7日 (単位:円)

収入の部					支出の部				
No	名目	単価	員数	金額	No	名目	単価	員数	金額
1	参加費(総会)	1,000	30	30,000	1	会場費		1	55,000
2	会場費			25,000	2				
3	会場費補助			30,000	3				
収入合計				85,000	支出合計				55,000
差引金額									30,000

・視察会使用バスについては、大曲商工会議所様から助成を受けております。

・会場費は、一般社団法人ビジネスサポート花巻様から助成を受けております。

東北IM連携協議会ワークショップin白河 収支決算 令和5年10月19日～20日 (単位:円)

収入の部					支出の部				
No	名目	単価	員数	金額	No	名目	単価	員数	金額
1	参加費	1,000	35	35,000	1	資料印刷費		1	54,780
2	印刷費補助		1	54,780	2	バス負担金		1	20,600
3	バス負担金		1	20,600	3				
収入合計				110,380	支出合計				75,380
差引金額									35,000

・会場使用料は、白河市様から減免処置を頂いております。

・視察使用バス(19日)は、白河市様から提供頂いております。

・資料印刷費は、一般社団法人産業サポート白河様に負担頂いております。

令和5年度東北IM連携協議会収支決算書

(単位:円)

収入の部					支出の部				
No	名目	単価	員数	金額	No	名目	単価	員数	金額
1	前年度繰越金			91,667	1	HP更新代		一式	17,930
2	WS大曲会費			30,000	2	振込手数料		1	600
3	WS白河会費			35,000	3	大曲会場費		1	25,000
4					4	賞状、楯代		一式	42,900
5					5	バス負担金・白河		1	20,600
6					6	弔電		1	2,090
収入合計				156,667	支出合計				109,120
差引金額									47,547


差引金額合計


47,547円は、令和6年度への繰り越しとする。

監査報告

令和5年度東北IM連携協議会の収支決算並びに関係書類について監査した結果、いずれも適正に処理されていることを認めます。

令和6年7月12日

監事 佐藤利雄 

監事 重巢敦子 

2) 第2号議案

・令和6年度事業計画(案)について

① ワークショップ開催事業

- ・東北IM連携協議会総会・ワークショップ in 奥州 (7月18日～19日開催)
- ・東北IM連携協議会 Award・ワークショップ in 宮城 (10月開催予定)

② 他機関との連携事業

- ・ビジネスマッチ東北2024への出展及びマッチング支援(令和6年11月14日)

③ 各県スキルアップ研修への協力

- ・青森県スキルアップ研修(年2回開催 第1回7月5日(青森市)、第2回1～2月(青森市予定))
- ・山形県福島県宮城県3県合同スキルアップ研修(8月下旬予定)

④ 東北起業女子応援ネットワーク事業への参画と協力

- ・地域主催事業との連携やJBIAと連携して事業実施を行った「Start-up Attendant 養成研修」修了生との連携事業及びSAの輩出を図る。

⑤ IM関連情報の発信

- ・全国各地域IM連携組織の事業等について、ホームページ等を活用し会員へ情報発信を行う。
- ・メーリングリストによる情報発信

東北IM連携協議会(一般会員:138名)

メーリングリストの概要

アドレス:taim02@taim.jp 管理者:斉藤方達(石巻専修大学)

*スパムメール混入が見受けられる対策としてアドレス変更を検討中。

東北IM連携協議会(役員用:21名)

アドレス:touhoku-im@taim.jp 管理者:斉藤方達(石巻専修大学)

⑥ 事業計画立案や活動内容検討

- ・支援企業ビジネスマッチング事業(仮称)を検討
- ・IM活動の成果指標構築検討
- ・会員の増強

⑦ その他協議会の目的に資する事業

- ・JBIA、東北経済産業局、中小企業基盤整備機構、日本立地センター等への事業協力

⑧ ワークショップ輪番について

岩手(R6)⇒宮城(R6)⇒青森(R7)⇒山形(R7)⇒秋田(R8)⇒福島(R8)

3) 役員改選

役員改選 (案)

任期：令和6年4月1日～令和9年3月31日

役職	氏名	所属	備考
代表幹事	庄司 孝一	サステイナブルエネルギー開発 (株)	留任
事務局長	佐藤 亮	(一社) ビジネスサポート花巻	留任
幹事	加藤 雅紹	(公財) 21あおもり産業総合支援センター	留任
幹事	上平 好弘	弘前大学 社会連携部	留任
幹事	柿崎 博美	(公財) あきた企業活性化センター	留任
幹事	鈴木 尚登	Be linked 代表	留任
幹事	飯岡 辰弥	(公財) 釜石・大槌地域産業育成センター	新任
幹事	斉藤 方達	石巻専修大学	留任
幹事	伊藤 理恵	(株)スリーデイズ	新任
幹事	松尾 伸一	(独) 中小企業基盤整備機構東北本部	新任
幹事	舟越 博紀	(公財) やまがた産業支援機構	留任
幹事	新城 榮一	福島県ベンチャー・SOHO・テレワーカー共働機構	留任
幹事	相馬 由寛	福島駅西口インキュベーションルーム	新任
監事	佐藤 利雄	SBIM 代表	留任
監事	平川 善子	能代商工会議所	新任

5. その他

東北 IM 連携協議会規約

第1章 総則

第1条(名称)

本会は、「東北 IM 連携協議会」(Tohoku Association of IM . 略称「TAIM」)と称する。

第2条(目的)

本会は、会員相互の連携を図り、東北地域におけるインキュベーション活動および地域の発展に資することを目的とする。

第3条(活動)

本会は、目的達成のために以下の活動を実施する。

- 1) 情報発信及び情報共有
- 2) 会員や関係機関のネットワーク形成
- 3) 会員及び関係者のスキルアップ
- 4) その他、目的達成に資する活動

第2章 会員

第4条(種別)

本会の会員は、次のとおりとする。

- 1) 正会員 : インキュベーション活動を実施する団体及び個人
- 2) 賛助会員: インキュベーション活動に関係する団体及び個人
- 3) 名誉会員: 幹事会が承認した団体及び個人

第5条(会員情報)

本会の会員は、連絡先を本会に届けなければならない。また、変更が生じた場合も同様とする。

第3章 会議

第6条(種別)

本会は、総会及び幹事会を開催する。

- 1) 総会は、全会員で構成する。
- 2) 総会は、年1回の定期会と必要に応じて、臨時会を幹事会が召集する。
- 3) 幹事会は、代表幹事、事務局長、幹事 監査で構成する。
- 4) 幹事会は、必要に応じて代表幹事が召集する。

第7条(議決)

会議の議決は、出席者の過半数の同意によって決し、議決内容は会員により尊重する。

第4章 組織

第8条(種別)

本会は、次の役員をおくことができる。

- 1) 代表幹事及び事務局長(各1名)
- 2) 幹事(若干名)
- 3) 監査(若干名)

第9条(選出)

代表幹事及び事務局長、監査は総会において選出する。

幹事は、代表幹事が指名し、事務局長の同意を得て選任する。

第10条(任期)

役員任期は三ヵ年とし、再任を妨げない。

第11条(事務局)

事務局は、事務局長の下に行う。

連絡窓口を東北経済産業局に置く。

第12条(顧問・相談役)

本会の運営の助言を行うために、次の役職を招請することが出来る。

- 1) 顧問
- 2) 相談役

附則

1. 総会において、出席者の2/3以上の賛同のあるときに、本規約の改正・変更ができる。
2. 代表幹事が職務の執行を出来ない場合は、事務局長が監査の同意のもと職務を代行できる。
3. 実施

本規約は平成24年7月6日より実施する。